

全国シェア95%

**“秋の味覚” 幸田町特産「筆柿」
まもなく出荷ピークを迎えます！！**

J Aあいち三河（代表理事組合長：大竹博久）管内である幸田町の特産物「筆柿」が10月10日頃出荷最盛期を迎えます。幸田町は、「筆柿」の生産量全国シェア率が95%を誇る大産地です。

今年は9月19日に初出荷を迎え、順調に生育が進んでいることや裏年にあたるものの、約420トンの収量を見込んでおり、東京や大阪、長野、名古屋の市場へ出荷、同J Aの産直店舗「幸田憩の農園」や「道の駅筆柿の里幸田」で販売しています。



「筆柿」の特徴

愛知県幸田町栽培され、生産量全国シェア95%を誇る特産物。1個100グラム程度の早生品種で、皮が薄く丸かじりもできる。平均糖度は18度で、高いものは25度にまで及ぶ。

今年は9月19日に初出荷がスタート。筆柿を栽培する西三河筆柿選果場運営委員会は、幸田町と西尾市の生産者59人で構成され、約35ヘクタールで栽培している。出荷は10月10日頃を最盛期に10月下旬まで続く予定。

『筆柿』の取材対応（内容：選果場での出荷作業）

日時につきましては10月上旬（10日頃）までの希望日に対応させていただきます。

お電話いただく際に、希望日時をお伝えください。

幸田営農センター内の選果場で取材対応します。

また、生産者の都合が合えば圃場へ案内することが可能です。



<お問い合わせ> J Aあいち三河 総合企画部 企画広報課（担当：岡田）

T E L : 0564-55-3034 F A X : 0564-55-2950 E-mail : kouhou@ja-aichimikawa.or.jp

※この情報は、J Aグループ愛知記者会においてプレスリリースしています。